

異物がのどに詰まったら？

のどに異物が詰まった場合、咳は異物除去に最も有効なので出来るだけ咳を続けさせます。

咳が弱くなったり、出来なくなったり、窒息が疑われる場合には、直ちに119番通報をするとともに身近にいる人が手当をしなければなりません。

背中を叩く(背部叩打)

⇒立っているか座っている場合

傷病者の頭を出来るだけ低くし、片手で傷病者の胸を支え、他方の手で左右肩甲骨の間を4～5回続けてたたきます。



⇒倒れている場合

傷病者を横向きにし、胸と上腹部を救助者の大腿部で支え、左右肩甲骨の間を4～5回続けてたたきます。



胸腹部に圧迫を加える

⇒立っているか座っている場合

傷病者を後ろから抱きかかえるような形で、上腹部の前で手を組み、上腹部及び胸下部を瞬間的に強く引きしぼります。

※上腹部だけを圧迫するのではなく、胴全体を引きしぼるように圧迫すること。



⇒乳児の場合

自分の中指か人さし指を乳児の口の中に入れて、舌を押さえ腕にまたがらせ下向きにして頭を低くします。

軽く握ったもう一方の手の柔らかい部分で左右肩甲骨の間をたたきます。



⇒幼児・小児の場合

すばやく抱き抱えるか大腿部(太もも)で支え、頭を低くして平手で背中をたたか、寝かせて胸腹部に圧迫を加えます。

※どちらもたたく時は加減が必要です。



口の中の異物を指で取り出す (指交差法による開口と指拭法)

気道確保に際して異物が見えた場合は取り除く。異物を探す為に覗いたり、盲目的に指では探らない。

⇒指交差法

一方の手の親指と人さし指を交差させ、上下の歯にかけ、ひねるようにして開けます。この方法は、口内の異物が疑われる場合に行います。

⇒指拭法

異物が見えた場合は、傷病者の顔を静かに横に向け、片方の指にハンカチやガーゼなどを巻いて拭き取るように異物を取り除きます。異物を取り除くときは、異物を指で奥に押し込まないように十分注意してください。

